

実はカンタン！ ゆるかわ花の写真術



超基礎編

blissデザイン

#1 絵になりやすい花がある

#1 絵になりやすい花がある



絵になりやすい花というのがある。

ケイトのような難しい花などを撮って「うまくないかも」と落ち込まないで。
最初はサクラやひまわり、パンジーやバラなど、「分かりやすい”かわいさ”」を撮るのがコツ！

絵になるシーンというのもあります。
カフェでの撮影や、かわいい雑貨と組み合わせるなど。

ゆるかわ写真を撮りたかったら、ゆるかわなモノをチョイスして撮る。
これ初心者さんの鉄則です！

#2 背景の生活臭が、ぜんぶをぶち壊す



お花を撮影するときは、お花と緑、ナチュラルなもの、かわいいもの以外はいれないほうがベスト。

お庭なら、肥料のビニールや泥だらけのホース、枯れ草などが入りやすい。

- ・モノをどける
- ・カメラを上下左右に動かし花が引き立つ背景を探す

花の美しさやかわいさを伝えたい写真なら、生活臭をなるべく消そう。

※記録としての写真なら背景にいろんな情報が詰まっていると、見返した後に思い出しやすくて

◎

#3 花の「どや顔」を探す



花のどや顔を探す。

花には「私きれいでしょ？」と主張している角度がある。

私たちもありますよね？カメラ撮るときに無意識に見せる顔の面。右？左？それをさがして撮ってあげるときれいに写ります。

つまり、

花をいろんな角度から見る。

何回も撮って一番いいのをチョイスしてあげてください。

結婚式の写真と同じですな～:D

#4 花写真のキモって何？



ずばり、色でないかと！！

色あせた花は魅力半減。特に室内写真は色が暗くなりがちなので注意！！
昼間でも電気をつけたり、窓際にお花を移動させましょう。

余裕があれば、

- ・設定で「彩度をあげる／VIVID」に設定
- ・設定で「露光量」を+1くらいにする

フラッシュを焚くと、影が強調されるときがあるので、
フラッシュ有り無し両方を試してきれいなほうを選択するといいですよ。